

JESCO 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.189)

1. 新年のご挨拶

新年、明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、穏やかな令和のお正月をお迎えになられたことと存じます。昨年は豊田PCB処理事業所におきまして、安全で安定的な処理を実施することができました。地域の皆様のご理解と豊田市のご指導の下、安全な操業ができておりますことに対し、改めて感謝申し上げます。

さて、当事業所の処理対象地域において、PCB廃棄物(トランス類・コンデンサ類)の保管事業者は、原則令和3年度末までにJESCOと処理委託契約を締結しなければならないことが法律上定められ、当事業所でも国、自治体と協力しながら、PCB廃棄物の早期契約に取り組んでいるところです。

また私ごとですが昨年5月に所長に就任し、初めて豊田でのお正月、仕事始めを迎えました。就任時のご挨拶、安全監視委員会等を通じて、皆様方のPCB廃棄物処理事業へのご関心とご理解の高さを強く感じております。本年も、何よりも安全を最優先にして安定的な処理を進めてまいりますので、引き続き皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



令和2年1月
豊田PCB処理事業所長 青木 仁志

2. 施設見学について

令和元年度第3四半期までの施設見学者数

	4～6月	7～9月	10～12月	計
団体数	10団体	6団体	1団体	17団体
見学者数	121名	12名	1名	134名

市民の皆様を始め、保管事業者、行政の方々や各種団体など、多くの方々に当施設をご見学いただき、PCB廃棄物の処理状況等について理解を深めていただいております。多くの方のご見学をお待ちしています。

施設見学をご希望の方は次頁【豊田PCB処理事業HP】をご参照のうえ、0565-25-3110までお問い合わせください。

3. 豊田PCB廃棄物処理施設 秋期定期点検を実施

当施設では、昨年11月25日(月)から12月27日(金)まで、33日間の秋期定期点検を行いました。



●定期点検中の安全パトロールの実施

定期点検期間中は、施設内の安全を確認するため、週1回の安全パトロールを実施しました。

この期間は、通常業務とは異なる点検・工事を行うため、多くの外部作業員が入所します。JESCO、運転会社、工事業者の3者でパトロールを行い、ルール違反や不適切な作業が行われていないか、また整理整頓等が行き届いているかを確認しました。

今回の定期点検も、非常に良く管理された状態で実施することができました。なお良好事例に関しては、他の工事場所にも展開し、さらなる安全業務の遂行を図りました。

●実施作業の一例

◆エアークンプレッサ整備

当施設内には真空加熱等に注入する窒素を製造する設備及び所内でエアシリンダー等を駆動する圧縮空気を供給するためにエアークンプレッサが合わせて5台設置されています。このコンプレッサは年に1度摩耗部品の交換等の整備を実施していますが、設置後10年以上を経過しており、交換部品も増加していることから、エアエンド(空気を圧縮する本体部分/右画像)を順次交換します。事業終了まで圧縮空気の供給に支障のないように対処していきます。



◆真空超音波エリア照明器具更新

真空超音波エリアは天井が非常に高く、また狭い場所に設備が多く設置されているため、管球の交換も大掛かりな工事になってしまいます。今回照明器具をLED器具に更新しました。高い場所は足場を組んで実施しました。これで事業終了まで交換する必要がなく、安全作業が行えます。(画像左)



デジ丸

中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話: 0565-25-3110 FAX: 0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <https://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>

問い合わせ先

アザラシのびーちゃん

